

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社サンケイビル（証券コード：-）

【据置】

長期発行体格付	A +
格付の見通し	ネガティブ
債券格付	A +

格付事由

- (1) 国内大手のメディアグループの持株会社であるフジ・メディア・ホールディングス（親会社）の完全子会社で、不動産事業を担う。オフィスビル賃貸やマンション分譲の他、近年は投資家向け不動産販売や介護付き老人ホームの運営にも注力している。15年4月には、ホテルやレジャー施設などを運営するグランビスタホテル&リゾート（グランビスタ）を買収し、連結子会社化した。
- (2) 当社の業績は好調であるが、親会社グループの収益・キャッシュフロー創出力は、数年前に比べ低下し、依然として回復には向かっていない。当社の格付には、親会社グループの信用力を強く反映させており、同グループの不振が続く場合には、当社の格付に影響を与える可能性があるとして JCR では考えている。以上を踏まえ、格付は据え置くものの、見通し「ネガティブ」を継続した。
- (3) 親会社グループの17/3期営業利益は244億円と前期並みにとどまる計画。14/3期から減益が続いており、依然として本格的な回復には至らない見通し。中核である放送事業の収益が、視聴率低下による広告収入の減少で低迷しているのが主因である。好調な都市開発事業などその他事業で補えていない。18/3期以降、放送事業の収益改善によりグループ全体の収益力向上が図れるか注目していく。
- (4) 当社の収益は拡大基調にある。ただ、マンション分譲や販売用不動産の売却といった回転型ビジネスが収益を押し上げており、今後の市況変動の影響には留意が必要である。財務面をみると、有利子負債はグランビスタ買収などもあり15年3月末の1,146億円から16年12月末には1,833億円へと大きく増加している。一方、15年3月と16年2月に計280億円の株主割当増資を実施したことで、D/Eレシオは2倍弱、自己資本比率は30%前後の水準を維持している。

（担当）里川 武・坂井 英和

格付対象

発行体：株式会社サンケイビル

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	ネガティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2007年9月26日	2017年9月26日	2.03%	A+

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年3月10日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「不動産」（2011年7月13日）、「親子関係にある子会社の格付け」（2007年12月14日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社サンケイビル
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル